

# 3 協会のSDGsへの取組

当協会では、以下のようなSDGsに係る取組みを実施してきました。

協会は今後も社会資本整備における事業者のパートナーとして、測量、土質調査、磁気探査、環境調査、設計等に係る業務ならびに事業を円滑に執行するための事業者支援としての役割を担っていきます。また、近年は社会資本整備を取り巻く状況が大きく変化してきていることから、これらの様々な課題解決を図るため、技術の専門家集団として、「沖縄県のSDGsへの取組」に貢献できるように「協会としてのSDGsの17の開発目標達成に向けた取組」を行ってまいります。

## これまでのSDGsへの取組

### 2 飢餓をゼロに

亜熱帯性気候や地理的特性など、本県の地域特性を最大限に活かせる持続的な農林水産業の発展に貢献する講演会を開催。



### 4 質の高い教育をみんなに

「測量の日」の関連行事として小学校へ向う測量機器を使った出前講座を開催。



### 6 安全な水とトイレを世界中に

会員企業による沖縄県宮古島市で採用された生物浄化法(生物群集の活躍により安全な水をつくる)のフィジードの普及活動。



### 3 全ての人に健康と福祉を

会員企業の業務を通じた大気、水質、土壌、有害化学物質などの調査・分析・測定などにより、県民の健康被害のリスク低減に貢献。



### 5 ジェンダー平等を実現しよう

「女性・若者の活躍の推進」などに取組むために「働き方改革関連法施行」に係る説明会を開催。



### 7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに

安全・安心なまちづくり、都市の維持コストが低廉化される事業推進などを体験する現場見学会を開催。



### 1 貧困をなくそう

子どもの貧困対策に取組む「沖縄子ども未来県民会議」への寄付。



### 8 働きがいも経済成長も

「働き方改革」を進めるため、調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新までのすべての作業プロセスでICTや3Dデータ等を活用する「i-Construction」実習会を開催。



### 9 産業と技術革新の基盤をつくろう

会員企業による産学官の連携により、「油汚染土壌の浄化促進剤及びこれを用いた浄化処理方法」を発明し、特許を取得。



### 10 人や国の不平等をなくそう

年齢、性別、人種、障害、宗教などの状況に関わりなく、会員企業の全技術者の技術力向上を図る支援として、技術発表会を開催。



### 11 住み続けられるまちづくりを

会員企業の業務を通じた道路植栽管理により、沖縄らしい道路景観を備えた魅力ある地域づくりに貢献。



### 12 つくる責任、つかう責任

会員企業の業務を通じた可燃ゴミとして焼却処分されている生ゴミを循環型資源として分別し再利用することで、沖縄県が掲げる「持続的循環型社会」に貢献。



### 13 気候変動に具体的な対策を

会員企業の業務を通じた地域防災計画策定のため、地域の意見・要望を取り入れたワークショップを開催し、地域に根付いた防災計画の策定に協力。



### 14 海の豊かさを守ろう

沖縄県、市町村が主催する河川・海岸清掃活動などに参加。



### 15 陸の豊かさを守ろう

会員企業の業務を通じたマングース探索犬による特定外来生物のマングース防除により、陸域生態系の保全に貢献。



### 16 平和と公正をすべての人に

北海道胆振東部地震義援金を「日本赤十字社沖縄県支部」に贈呈。



### 17 パートナーシップで目標を達成しよう

会員企業によるJICAの「中小企業・SDGsビジネス支援事業」を通して、沖縄の知見を活かした「サモアの環境保全及び災害リスク低減」に貢献。



## 新たな沖縄振興に向けたSDGs推進方針

当協会は、社会資本整備における事業者のパートナーとして、測量、土質調査、磁気探査、環境調査、設計等に係る業務ならびに事業を円滑に執行するための事業者支援としての役割を担っていきます。また、近年は社会資本整備を取り巻く状況が大きく変化してきていることから、これらのさまざまな課題解決を図るため、技術の専門家集団として、「沖縄21世紀ビジョン」の将来像の実現に貢献するとともに、本県のSociety5.0(超スマート社会)を支える責務を担い、以下の取組みを通して、SDGsの理念である17のゴールの推進に貢献していきます。

	<p><b>1 貧困をなくそう</b> 沖縄県の貧困率は国内でも高いと言われていることから、当協会に加盟する企業の業務受注の機会を増やし、増収増益による企業体力の強化により、雇用機会の創出・拡大、従業員の所得向上を図ることで、本県の貧困問題の改善に貢献していきます。</p>
	<p><b>2 飢餓をゼロに</b> 当協会に加盟している農業土木コンサルタントがリーダーとなり、農業を営む際に必要な諸施設の整備に係ることで、亜熱帯性気候や地理的特性、多様な地域資源など、本県の地域特性を最大限に活かせる持続的な農林水産業の発展に貢献していきます。</p>
	<p><b>3 全ての人に健康と福祉を</b> 当協会に加盟している環境コンサルタントがリーダーとなり、大気、水質、土壌、有害化学物質などの調査・分析・測定などを通して、県民の健康被害のリスク低減に貢献していきます。</p>
	<p><b>4 質の高い教育をみんなに</b> 学生等を対象とした測量・ドローン操作の体験や環境学習のイベントなどを開催し、建設コンサルタント業に関心を持ってもらうことで、本県の将来の社会資本整備を担う人材育成の機会を創出します。</p>
	<p><b>5 ジェンダー平等を実現しよう</b> 当協会に加盟している企業において、「同一労働同一賃金などの非正規雇用労働者の待遇改善」、「長時間労働の是正や柔軟な働き方がしやすい環境の整備」、「生産性向上や賃金引上げのための支援」、「女性・若者の活躍の推進(子育て等で離職した正社員女性等の復職支援や男性の育休取得の促進、若者に対する一貫した新たな能力開発等)」、「人材投資の強化や人材確保対策の推進」などに努めていきます。</p>
	<p><b>6 安全な水とトイレを世界中に</b> 沖縄県宮古島市で採用され、その後、サモアやフィジーなどの太平洋島嶼国においても、JICA プロジェクトとして沖縄連携等により普及・実証された中本信州大学名誉教授の考案による生物浄化法(化学薬品、電気機械をほとんど使用せず生物群集の活躍により安全な水をつくる)を当協会に加盟している上下水道コンサルタントがリーダーとなり、アジア・太平洋地域などの途上国へ展開していきます。</p>
	<p><b>7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに</b> 沖縄県がスマートシティに取組み、コンパクト・プラス・ネットワーク施策を加速させ、地域の拠点形成、エネルギー効率化やグリーンインフラの活用などが推進されることにより、地域全体の低炭素化や暑熱緩和、安全・安心なまちづくり、都市の維持コストが低廉化される事業等に貢献していきます。</p>
	<p><b>8 働きがいも経済成長も</b> 人口減少や高齢化が進む本県において、当協会に加盟する企業は、「働き方改革」を進めるため、調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新までのすべての作業プロセスでICTや3Dデータ等を活用する「i-Construction」を推進し、業務の円滑化・効率化を図ることで労働生産性を高め、利益拡大に努めていきます。</p>

	<p><b>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</b> 国際競争力の強化、県土強靱化、防災・減災対策、コンパクト・プラス・ネットワーク、老朽化対策などの分野を重点化し、ストック効果が最大限発揮されるような戦略的な社会資本整備への取組みに貢献するとともに、当協会に加盟する企業は、本県の社会資本整備で培った知識、技術、経験等を活かし、産学官の連携による沖縄独自の技術・製品開発などにも取組んでいきます。</p>
	<p><b>10 人や国の不平等をなくそう</b> 当協会に加盟している企業は、年齢、性別、人種、障害、宗教などの状況に関わりなく、すべての技術者に対して技術力向上を図る支援を行っていきます。</p>
	<p><b>11 住み続けられるまちづくりを</b> 持続可能で強靱な県土と質の高い社会資本整備に係る事業を通して、沖縄の自然環境が有する多様な機能の活用を図り、沖縄らしい風景・景観を備えた魅力を引き出す地域づくり、カーボンニュートラルに貢献する生活実現に関わっていきます。</p>
	<p><b>12 つくる責任、つかう責任</b> 社会資本整備に係る廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用を図り、廃棄物の発生の大幅な削減に努めていきます。</p>
	<p><b>13 気候変動に具体的な対策を</b> 沖縄県においても、気候変動により増大する将来の水災害リスクに備え、治水安全度を高めるための河口閉塞の改善や河川改修など、流域を含めた沿岸域の防災・減災対策事業を通して、県土保全に貢献していきます。</p>
	<p><b>14 海の豊かさを守ろう</b> 沖縄の自然は、天賦の貴重な贈り物であることを認識し、豊かな自然を守り、次の世代、さらに 次の世代へ送りつなげるため、サンゴ礁生態系(サンゴ、マングローブ、藻場、干潟等)の保全・再生および持続的利活用が可能な測量、土質調査、磁気探査、環境調査、設計等を提案・実施することで、海岸・港湾など海域における社会資本整備の推進に貢献していきます。</p>
	<p><b>15 陸の豊かさを守ろう</b> 沖縄の自然は、天賦の貴重な贈り物であることを認識し、豊かな自然を守り、次の世代、さらに 次の世代へ送りつなげるため、陸域生態系(陸域に生息・生育する動植物等)の保全・再生および持続的利活用が可能な測量、土質調査、磁気探査、環境調査、設計等を提案・実施することで、河川・道路など陸域の社会資本整備の推進に貢献していきます。</p>
	<p><b>16 平和と公正をすべての人に</b> 当協会に加盟する企業がJICAなどを通して海外関連事業に取組むことで、「イチャリパチョーデー(出会えば人は皆兄弟)」や「ユイマール(共同作業など相互に助け合う伝統的な習慣)」など、沖縄の伝統に根ざす人と人とのつながりを大切するウチナーンチュ(沖縄人)の平和を愛する心を世界へ発信していきます。</p>
	<p><b>17 パートナーシップで目標を達成しよう</b> ウチナーンチュ(沖縄人)は万国津梁の精神のもと、日本とアジア・太平洋地域を結び架け橋としての責務を担っていることから、これら途上国の未来と発展を支えるリーダーとなる人材を沖縄に招へいし、当協会に加盟している企業が本県の社会資本整備で培った知識、技術、経験等を学ぶ機会を提供することでパートナーシップを構築し、海外案件への参入の機会を創出していきます。</p>

## 今後の展望

当協会は世界に目を向け、「WUB」やJICA沖縄との連携を図るとともに、「日本と海外との懸け橋」になる活動を行っていきます。また、PIF島嶼国(オーストラリア、ニュージーランド、パプアニューギニア、フィジー、サモア、ソロモン諸島、バヌアツ、トンガ、ナウル、キリバス、ツバル、ミクロネシア連邦、マーシャル諸島、パラオ、クック諸島、ニウエ、仏領ポリネシア、ニューカレドニア(現在16か国及び2地域。))へ沖縄の社会資本整備に係る知見を活用してもらえるように、沖縄県に対しては、本県での「太平洋・島サミット(PALM)」の開催を強く要望いたします。

### ▶WUBとの連携

WUBとは、「Worldwide Uchinanchu Business Association」の略称で、沖縄をルーツにもつ二世、三世を中心に、ワールドワイドに経済、文化、社会活動を通じて地域の発展と繁栄に貢献し互いに協力連携することを理念とする団体。1997年、世界に広がる30万人以上の連携を目的にロバート・仲宗根の提唱により設立された。この運動の

中枢は、WUBインターナショナル(本部：サンパウロ、ブラジル)で、日本をはじめ、南米、北米、ハワイ、アジア、欧州など21支部が存在し、沖縄県知事がWUBインターナショナルの名誉会長を務めている。毎年、各支部の持ち回りでWUB世界大会があり、ハワイ、ブラジル、ロス・アンゼルス、沖縄、東京、ポルビア、ハワイ、アルゼンチンなどで開催された。



出所: <https://www.wubokinawa.com>

### ▶日本と海外との懸け橋を目指して

古くから、沖縄はアジア諸国を相手に交易・中継貿易を行い、万国の津梁(=世界の架け橋)としての役割を担い、繁栄してきた。そして、アジアの経済発展にともない、沖縄の地理的優位性が、今再び注目

されるなか、ウチナンチュ(沖縄人)は、「日本とアジア・太平洋地域をつなぐ架け橋」として、国際社会における日本のプレゼンスを高める責務を担っている。



万国津梁の鐘(15世紀に铸造、首里城本殿に掛けられていた)



出所: <https://www.asia-keizai.okinawa/about/>

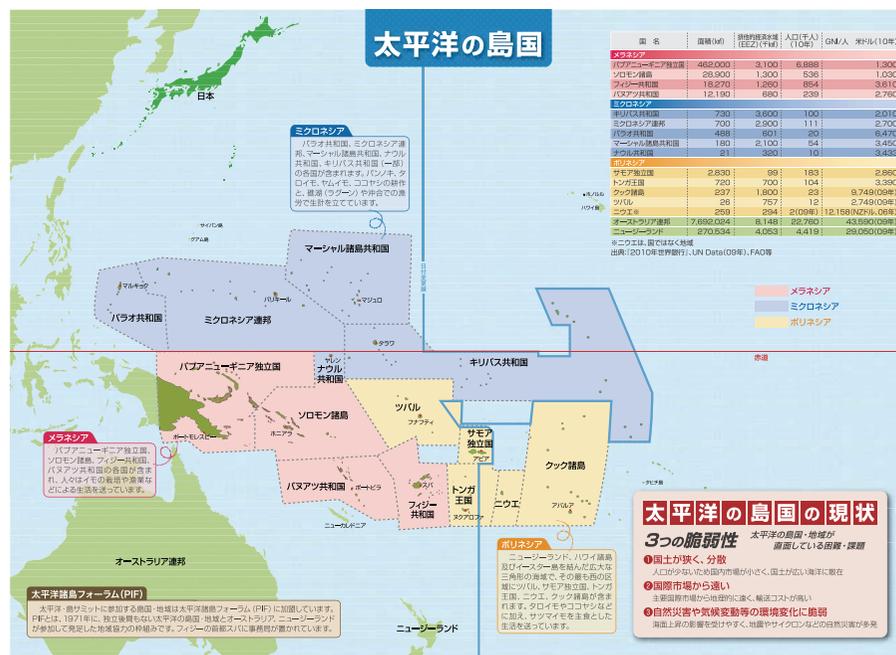
### ▶太平洋・島サミット(PALM)の開催

「太平洋・島サミット(PALM)」とは、ミクロネシア、メラネシア、ポリネシアの国々からなる太平洋島嶼国は、大変親日的で、国際社会において日本の立場を支持するなど、日本にとって重要な国々です。太平洋・島サミット(Pacific Islands Leaders Meeting: PALM)は、日本がこれらの国々との関係を強化する目的で、1997年に初めて開催され、以後3年毎に日本で開催されています。太平洋島嶼国は、「国土が狭く、分散している」、「国際市場から遠い」、「自然災害や気候変動等の環境変化に脆弱」などの困難を抱えており、太平洋・島サミットではこうした様々な課題について共に解決策を探り、太平洋島嶼地域の安定と繁栄を目指し、首脳レベルで議論を行っています。

「第6回太平洋・島サミット(PALM6)」は、2012年5月25日及び26日に沖縄県名護市の万国津梁館で開催され、「沖縄キズナ宣言」が採択されています。「沖縄キズナ宣言」では、島嶼国との地理的及び気候上の類似性に基づき、沖縄に特有の知見及び経験を、PIF島嶼国の開発のために一層活用していく可能性に留意されています。



出所: 外務省ホームページ



出所: <https://www.wubokinawa.com>